

# 第三次甲州市行政改革大綱

-平成 29 年度-

## 検証結果

平成 30 年 11 月

甲州市

## **I. 検証方法及び結果の活用**

### **1. 対象**

平成 27 年 5 月策定「第三次甲州市行政改革大綱」、「甲州市行政改革推進プログラム」、  
「実施計画書」に示す実施項目

### **2. 大綱の計画期間**

平成 27 年度～平成 33 年度  
平成 30 年度に中間見直し予定

### **3. 検証基準日**

平成 30 年 3 月 31 日

### **4. 検証方法**

各課から提出のあった第三次行政改革実施計画書を政策秘書課で取りまとめ、達成状況等について整理を行い、資料を作成し、行政改革推進委員会において検証を行う。

### **5. 検討結果の公表**

甲州市ホームページで公表

### **6. 検証結果の活用**

第三次行政改革大綱に基づく平成 30 年度以降の取組の参考とする。また、実施計画書の変更及び各種業務の見直し等に利用する。

## II. 実施項目

第三次甲州市行政改革大綱 甲州市改革推進プログラム進捗状況

進捗状況（5：最終目標達成、4：各年度目標を超える進捗、3：順調な進捗、2：進捗不十分、1：未着手）

1 協働（市民協働の推進）		
(1) 市民と市政との情報の共有化	実績及び検証	進捗状況
<p><b>①電子化・情報化の推進</b></p> <p>○各種申請・届出のオンライン化を今後も継続するとともに、ツイッター、フェイスブックなどのSNSの活用も含め、防災・防犯などの情報サービスの提供を進めます。（継続）</p> <p>【総務課】</p>	<p><b>【取組状況（H29）】</b></p> <p>各課からの申請を受け、SNS使用権限の付与を行い、有効な活用を促進した。また、申請書に当市のセキュリティポリシーに沿った運用をする旨を記載し、運営指針の徹底を図った。</p> <p>電子申請については、「やまなしくらしネット」の担当者会議に出席し、マイナンバーへの対応による利便性の向上のための意見交換を行った。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p> <p>SNSについては、広報部門との連携が必須であり、連絡会議等の開催が望まれる。</p> <p>電子申請については、マイナンバーの普及が進んでおらず、利便性のPRが必要である。</p>	3
<p><b>②情報の共有化</b></p> <p>○市政に関する情報を市民がいつでも閲覧できるように、ホームページ等の充実を図り、行政の考え方が見える広報に努めます。また、オープンデータ（公共施設の位置情報、AEDの位置情報、文化財、観光施設の写真等について）の活用、提供について研究を行います。（継続）</p> <p>【政策秘書課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b></p> <p>簡潔に必要な情報に辿り着けるような情報公開のための研修を実施し、また、各課広報担当員へホームページ掲載情報の精査を呼びかけ、最新情報の充実を図った。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b></p> <p>上半期の取組みを継続するとともに、感覚的に扱えるホームページにするため、トップページの各表示形式について業者と打合せを実施した。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p> <p>多種多様な情報の検索・閲覧をいかに容易にするか検討を進めるとともに、各課へ迅速・正確な情報提供を行うよう喚起する。オープンデータについては、先進事例を参考にし、活用・提供方法などを調査研究する。</p>	3

(2) 市民と行政の協働に基づく行政サービスの充実

① 協働に関する指針に沿った推進

○平成 23 年 4 月策定の「次代へつなぐ元気な甲州（まち）への道標 甲州市協働のまちづくりを進める基本方針」の「協働に関する指針」に沿って、市と市民・ボランティア団体・事業者等との協働によるまちづくりを推進し、市民自らの意思によりまちづくりに参画する意識の醸成を図ります。また、市民との合意形成の仕組みづくりについて研究を進めます。（継続）

【市民課】

【取組状況（H29 上半期）】

「協働によるまちづくり」の PR のため、広報やホームページの活用のほか、地区公民館、市民に活動拠点を置く NPO 法人、市民活動団体等へ、市民提案型協働のまちづくり事業助成制度について通知し、募集を行った。

【取組状況（H29 下半期）】

引き続き、広報やホームページの活用により事業の募集を行った。

【課題・今後の方針、改善事項など】

市民自らの意思によりまちづくりに参画する意識の醸成を図るための取組みとなるよう、市民提案型協働のまちづくり助成制度の周知等、協働のまちづくり委員会を中心に推進していく。

3

② 市民提案型協働のまちづくり事業の推進

○平成 24 年度創設の「市民提案型協働のまちづくり（補助金交付）事業」を推進し市民・ボランティア団体・事業者等との協働によるまちづくりの促進を一層図ります。（新規）

【市民課】

【取組状況（H29）】

広報やホームページを活用し、市民提案型協働のまちづくり事業活用の周知を実施した。

また、申請のあった 1 団体について選考委員会を開催し、事業の適格性を判断した結果、候補者として選定した。選定後、進捗状況の確認を行いながら、協働による事業を実施することができた。

【課題・今後の方針、改善事項など】

市民提案型協働のまちづくり（補助金交付）事業について、広報やホームページへの掲載、地区公民館へのパンフレットの設置等で周知を行っているが、更なる活用促進のための周知方法の改善等を行う。

単年度交付の補助金であるが、協働事業が継続して行われるよう実施後の指導徹底を行う必要がある。

3

<p><b>③行財政改革貢献型市民提案制度の創設</b></p> <p>○市民から広く、行財政改革につながる事業や取組について提案を受け けるための制度の創設を行います。(新規) 【財務経営課】</p>	<p><b>【取組状況 (H29)】</b></p> <p>全事業を対象に意見を募る手法をとるのか、あるいは情報提供依 頼のあった事例について提言の募集を行うかの判断が必要になる ため、継続して検討を行っている。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p> <p>既存の事業について提言を行う上で市民に対して事業の情報開 示を前提としている自治体が多い。平成 30 年度も引き続き、検討 を行っていく。</p>	<p>2</p>
<p><b>④広聴・広報活動の充実</b></p> <p>○市政情報の積極的な提供や公開を進めるとともに、市政出前懇談会 などでの市民との対話を通じ、市民の意見、提案やニーズを把握し、 市政に反映させます。また、年間の広報計画を年度当初に作成する とともに毎月の編集会議を行います。(継続) 【政策秘書課】</p>	<p><b>【取組状況 (H29)】</b></p> <p>広聴については、市長への手紙・ホームページの問合せ等への対 応ができています。広報については、市政の現状と課題を毎月特集し 展開できており、また、市民の声を反映する記事の掲載も組み入れ ることができています。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p> <p>多種多様な情報の検索・閲覧をいかに容易にするか検討を進める とともに、各課へ迅速・正確な情報提供を行うよう喚起する。オー プンデータについては、先進事例を参考にし、活用・提供方法など を調査研究する。</p>	<p>3</p>
<p><b>(3) 男女共同参画の推進</b></p>		
<p><b>①「フルーティー夢プラン」(甲州市男女共同参画推進計画)に沿った推進</b></p> <p>○甲州市に住む誰もが、性別に関わりなく、互いの人権を尊重しつつ 協力し合い、個性や能力を発揮し、かつ責任を分かち合い、豊かな 人生を築くような活動を推進します。甲州市男女共同参画推進計画 については、平成 28 年度を計画年度としているため、平成 29 年度 以降の第 2 次計画について、着実に策定するとともに、男女共同参 画に関する条例の制定に向け準備を進めます。(継続) 【市民課】</p>	<p><b>【取組状況 (H29 上半期)】</b></p> <p>第 2 次甲州市男女共同参画推進計画に基づき、5 月に庁内推進本 部を設置するとともに、庁内推進会議を開き、男女共同参画社会実 現に向け庁内が連携して事業を行うことを確認した。また、6 月 には第 2 次推進計画の概要版を全戸配布し、市民への周知を行うと ともに、推進委員会を中心に推進計画に沿った事業を継続的に実施 した。</p> <p><b>【取組状況 (H29 下半期)】</b></p> <p>推進委員会を中心に第 2 次推進計画に沿った事業を継続的に実 施した。また、第 2 次計画に基づく推進活動として、健康増進課と 連携した男性の料理教室や、生涯学習課と連携して取り組んだ「樋 口一葉から学ぶ男女共同参画」では、2 月 3 日にフォーラムを開催 し、市民への周知活動となった。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p>	<p>3</p>

	<p>平成 28 年 3 月に甲州市男女共同参画推進条例を制定し、また、平成 29 年 3 月には新たな課題に対応するための推進の方向性を示した第 2 次甲州フルーティー夢プラン（第 2 次甲州市男女共同参画推進計画）を策定することで、市の男女共同参画社会実現に向け基本的な考え方や具体的な施策など甲州市の目指すべき姿を明確に示すことができた。今後は、都市宣言の制定に取り組む中で、より一層の市民への周知徹底を図り、甲州市に関わる全ての人とともに男女共同参画社会の実現に向け取り組んでいく。</p>	
<p><b>(4) 良好な生活環境・安らぎのある景観の整備</b></p>		
<p><b>① 良好な環境・景観等の保持の取組</b></p> <p>○豊かな甲州市の自然環境や地域によって守られてきた景観・伝統や文化を次世代に引き継ぐため、景観条例を基に、行政と地域が協力して保全に取り組みます。また景観形成重点地区の指定に向けた業務を着実に進めます。(継続) 【都市整備課】</p>	<p><b>【取組状況 (H29 上半期)】</b></p> <p>自然色ネット等に対する補助金交付を開始し、広報等で制度の呼びかけを行った結果、上半期の自然色ネット等の設置は、9 件となった。景観形成基準検討業務を発注し、協議を重ねている。国道 411 号の景観重要公共施設の指定に向けても、関係機関と協議しているところである。</p> <p><b>【取組状況 (H29 下半期)】</b></p> <p>上記ネット等の設置は、下半期で 10 件となった。景観形成基準、景観重要公共施設の指定については景観審議会にて説明を行い、重点地区候補地の住民に対しては説明会を開催し、景観改善事業（ペンキ塗り）については塩山南小、塩山中付近及び於曾公園にて実施した。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p> <p>景観形成基準（建築物等の高さ）について、住民への周知、合意形成に向けた説明会を開催する。屋外広告物事務の県から移譲に向けてワークショップ等を開催し、設置者、施工者、住民と考え、甲州市らしい屋外広告物の取り組みを展開できるようにしたい。</p>	<p><b>3</b></p>
<p>○豊かな甲州市の自然環境や地域によって守られてきた景観・伝統や文化を次世代に引き継ぐため、景観条例を基に、行政と地域が協力して保全に取り組みます。また景観形成重点地区の指定に向けた業務を着実に進めます。(継続) 【文化財課】</p>	<p><b>【取組状況 (H29 上半期)】</b></p> <p>勝沼のブドウ畑とワイナリー群文化的景観保護推進事業について、昨年度から引き続き山梨大学との共同研究により、勝沼地区での調査を行い、5 月には第三回文化的景観調査委員会を開催、新委員への説明および中間報告を行い、参加委員への各団体や地区での啓発を促した。</p> <p><b>【取組状況 (H29 下半期)】</b></p> <p>引き続き山梨大学との共同研究と工学院大学への調査委託によ</p>	<p><b>2</b></p>

	<p>り、勝沼地区での調査を行い、2月には第四回文化的景観調査委員会を開催、文化庁へ報告した事業計画の変更による翌年度での報告書刊行と工学院大学による建造物調査の中間報告を委員に説明を行った。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p> <p>文化的景観地区への建造物調査の追加による事業計画の変更に伴い、調査終了と調査報告書の刊行を平成30年度に行うため、それに付随する形で、文化的景観保存計画策定も平成31年度以降となった。</p>
--	--

**(5) 甲州市の魅力をもとに全国にPRする取り組みの促進**

**① 地域力の向上**

○地域力の向上のため、ブランド力の向上や地産地消、市民農園、遊休農地活用、コミュニティビジネス、市民提案型事業などの地域おこし施策を推進します。(継続)

**【関係課】**

**【取組状況 (H29 上半期)】**

日本農業遺産認定を広くPRするためにポスター、パンフレット、幟旗、ミニ幟旗など周知用物品を新たに準備し、農業関係機関に対して配布及び周知依頼を行った。また日本農業遺産の名称を広く適切に使用するため名称使用に関する指針を定めるとともに周知を行った。

また、世界農業遺産認定に向け再チャレンジを行うことを総会において議決するとともに関係者による会議を毎月開催した。また農林水産省の認定証授与式に出席するとともに日本農業遺産認定に認定された他地域と交流を図り、今後の連携について情報交換を行った。

都市農村交流事業として、市民団体である「甲州市グリーンツーリズム研究会」が中心となり、都市住民が農業体験を行う「農村ワーキングホリデー事業」に取り組むとともに農泊事業の調査研究に取り組んだ。

**【取組状況 (H29 下半期)】**

世界農業遺産認定に向け関連会議を毎月開催するとともに広く峡東地域の住民などを対象としたシンポジウムを開催した。

関東農政局主催のイベント、埼玉県で開催された農業遺産関連イベント等に積極的に参加し峡東地域について広くPRを行った。

世界農業遺産申請候補地となった宮城県大崎地域、静岡県で視察を行い、候補地の自治体職員等から申請書等の記載について助言を得た。

世界農業遺産認定に向け前回の申請書について専門家の意見を

	<p>伺うなど分析を行い、指摘のあった生物相調査を実施するとともに、申請書全般にわたり記載内容の充実に努めた。</p> <p>都市住民の農業体験メニューとして、「ころ柿づくりワーキングホリデー」「玉宮地区ぶどうの剪定とフットパス」事業を実施し好評を得た。</p> <p>農泊事業については、国の補助事業を獲得し、塩山下小田原上条地域に農泊施設を、また、農泊関連事業として、塩山玉宮地区に交流型ワイナリーの整備に取り掛かることができた。(県内では3自治体が事業承認)</p> <p>上条地区に県の補助を得て、都市と農村交流型市民農園である「リンケージ農園」を開設した。運営市民協働の理念を生かし「上条を活性化する会」が担っていただくこととしている。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本農業遺産に認定されたことを広く周知するとともに農業振興へつながる取り組みを検討実施していきます。</li> <li>・平成30年6月の世界農業遺産への申請期限に向け、申請書の充実に努める。</li> <li>・引き続き、都市と農村交流を促進するべく、グリーンツーリズムの推進施策に取り組む。</li> </ul>
<p><b>②甲州市の魅力や特性のPRの促進</b></p> <p>○甲州市の地域資源を活用し、首都圏等からの来訪者や二地域居住を促進し、移住希望者が地域に溶け込めるための協力者として、定住相談員などの設置を含め、交流人口や定住人口の増加に努めます。</p> <p>また、特に若い世代の家庭増加につながる取組を検討・実施していきます。(継続)</p> <p><b>【政策秘書課】</b></p>	<p><b>【取組状況(H29上半期)】</b></p> <p>情報通信技術を活用することにより、就労機会の拡大及び市外事業者の本市進出を支援し、もって地域経済の活性化を図るため、シェアオフィス甲州を設置することとし、設計業務をプロポーザルで委託した。</p> <p><b>【取組状況(H29下半期)】</b></p> <p>設計委託の完了を受けて工事発注を行い29年度内の完了を目指したが、設計と現況との相違により、工期延期を行うこととなる。</p> <p>利用の促進をはかるための、効果促進事業としての、働き方セミナー及び、利用企業誘致の為の誘致ツアーを実施し、設置条例を策定した。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p> <p>工期延期に対して的確な対応と活用の促進につながる利用形態の決定が必要である。今後、サテライトオフィス誘致の中核施設として利用を促進する。</p>

<p>○トップセールスについては、継続して訪れることによる信頼感の醸成が最も重要となることから、今後も甲州市のPRと経済活性化に向けて、市長のトップセールスを継続します。(継続)</p> <p><b>【産業振興課】</b></p>	<p><b>【取組状況（H29）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年7月28日～29日にかけて、大阪府大果大阪青果、彦根市平和堂においてぶどう、桃のトップセールスを実施した。</li> <li>・同年8月20日～22日にかけて、台湾台中、台北において主にシャインマスカットのトップセールスを実施した。</li> <li>・同年12月9日に、東京都大田市場において枯露柿のトップセールスを実施した。</li> </ul> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p> <p>国内においては引き続き従来地域で継続し、有望な新規地域があれば実施を検討する。海外ではまず市の輸出品がある程度定着している地域（香港、台湾）を中心に行い、マレーシア等東南アジアにおいてもその定着状況を見ながら実施を検討していく必要がある。また、JAとの連携により実施が有効な地域から優先的に行う必要がある。</p>	3
<p>○甲州市魅力発信事業を通じ、甲州市の魅力を県内外に若手職員を中心に積極的にアピールするとともに定住促進へつなげます。(新規)</p> <p><b>【政策秘書課】</b></p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b></p> <p>山梨県立大学の学生に取材編集等を委託している「甲州らいふ」の年間2巻発行のうちVOL6を10月に10,000部発行した。従来発行したもの併せて、移住相談会等で利用し、また、各所に設置しPRを行った。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b></p> <p>3月にVOL7を10,000部発行した。掲載内容について、今後見直しの検討を行う必要性について協議を開始した。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p> <p>山梨県立大学のCOC+事業は29年度で終了となるため、今後について検討が必要なる。また、記事の内容について、もう少し住民目</p>	3

<p>○大学や企業、各種団体との連携によるまちづくりの推進や地域経済の活性化などを目指します。(新規) 【政策秘書課】</p>	<p>線への移行についても要検討であり、ペーパーとWEB版の情報発信について方向性の改善を行うようにする。</p> <p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 各課においてそれぞれ事業に取り組んでいるが、事業を把握するために実施状況調査や包括的連携の周知を改めて行い、更なる事業の推進を図った。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 塩山高校3年生による「地域活性化プロジェクト2017」探究活動報告会を実施した。商工業振興計画の策定にあたり、学生を対象としたワークショップに県立大学生と塩山高校生が参加した。甲州市総合戦略における各種施策の推進を図るため、株式会社山梨中央銀行と連携協定を締結した。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 市内にある県立産業技術短期大学校と連携したまちづくりの取組みや地方創生の推進に向け身近な機関である郵便局などとの連携を研究し、地域活性化を図る。</p>	<p>3</p>
<p><b>③インターネットを活用した地域情報発信</b></p> <p>○インターネットを利用し、全国に向けてホームページ、SNSを活用し、甲州市の魅力を適時に発信するなどの広報活動に力を入れて行きます。(継続) 【政策秘書課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 情報発信の基盤となる公式ホームページのトップページを直感的に使えるようにするため、看板画像や各種バナーの情報精査とデザインの修正などを展開した。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 各課が開設するSNSのまとめページを制作するとともに、今後のSNS展開を研究した。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 多面化する地域情報の収集方法の調査研究をおこない、公正平等を原則とした最新情報の発信方法などの調査研究をしていく。</p>	<p>3</p>

## 2 成果（職員の意識改革）

### （1）組織・機構の見直し

#### ①時代に即応した組織体制の整備

○従来の縦割り型組織にとらわれず、政策目的に基づき、効率的・効果的に事務事業を処理し得る、市民の視点に立った弾力的組織を目指します。（継続）

【政策秘書課】

#### 【取組状況（H29 上半期）】

平成 30 年 4 月からの行政組織の再編にむけ、行政経営連絡会議を 3 回開催し、見直しの基本方針案を作成した。9 月 16 日の庁議にて「行政組織の見直しの基本方針」を決定し、9 月末に各課ヒアリングを実施した。

#### 【取組状況（H29 下半期）】

引き続き行政経営連絡会議を開催し協議を重ね、庁議を経て平成 29 年 12 月議会に行政組織条例等の一部を改正する条例を上程し可決された。条例改正に伴い関係する規則、訓令等についても例規審査委員会を経て改正した。

#### 【課題・今後の方針、改善事項など】

今後も市民目線でわかり易く、社会情勢の変化等に的確に対応できる、簡素で効率的な組織機構を構築していく。

3

○勝沼支所、大和支所については、住民の視点に立ち、幅広い要望に対応できるよう、業務内容の見直しを行います。また、将来的なあり方について検討します。（新規）

【政策秘書課】

#### 【取組状況（H29 上半期）】

平成 30 年 4 月からの行政組織の再編にむけ、行政経営連絡会議のなかで、支所の体制や支所が行う行政事務の内容、業務量などについての協議、検討を行った。

#### 【取組状況（H29 下半期）】

行政経営連絡会議で協議検討を重ねながら、現在リーダー1 名が 2 担当を兼務している状況なども勘案し、1 担当とすることとし例規審査委員会の審議を経て行政組織規則等の一部を改正した。

#### 【課題・今後の方針、改善事項など】

各地域の身近な行政手続窓口としての機能は果たされているが、行政コストを踏まえ最少人員で質の高い行政サービスが提供できるよう体制整備を研究していく。

3

○指定管理者制度、業務委託実施、移管事務などを勘案し、人事面での有効な配置を行い、異業務に携わる職員については、必要な研修を行うとともに、定期的なフォローアップを行います。（新規）

【総務課】

#### 【取組状況（H29 上半期）】

来年度の機構改革に向け、新しい人事配置の把握をした。

#### 【取組状況（H29 下半期）】

新しい組織機構での新たな人員配置を行った。

#### 【課題・今後の方針、改善事項など】

来年度からの新しい組織機構のもと新しい人員配置を行ったが、今後、適正な人員配置か検証を行う必要がある。

3

<p>○時間外勤務や、業務量のバラつきを解消するために、各課の業務量及び繁忙期を把握し、可能な限り柔軟な人的配置を行える仕組みについて検討を行います。またフレックスタイム制の導入可能性について研究します。(新規)</p> <p>【総務課】</p>	<p>【取組状況（H29 上半期）】 各課の時間外勤務時間等を把握し、来年度実施される機構改革に生かす。</p> <p>【取組状況（H29 下半期）】 各課の時間外勤務時間等を把握し、課長へ時間外が多い対象者へ注意を促した。</p> <p>【課題・今後の方針、改善事項など】 時間外勤務時間の上限を設けるなど目に見える設定が必要である。</p>	3
<p>○時間外勤務の多い職員や担当部署について実態調査を行うとともに、ノー残業デー実施の徹底を行うとともに、時間外勤務の縮減に向けた取組を行います。(新規)</p> <p>【総務課】</p>	<p>【取組状況（H29）】 7月及び8月をノー残業デー徹底月と位置づけ、総務課長と人事担当リーダーで庁内を回り職員に帰宅するよう指導した。</p> <p>○時間外勤務等命令簿で提出された時間外勤務時間(選挙事務分除く。)の合計 7・8月分 2,831時間 (-12.59%) 6・9月分 3,239時間</p> <p>【課題・今後の方針、改善事項など】 残業時間の短縮、年次有給休暇の取得等、働き方改革の促進等改善事項を研究していく。</p>	3
<p>○再任用職員が活躍できる仕組みづくりについて検討を行います。経験豊富な再任用職員の活用について、各課に必要性を確認するとともに、その経験が十分に発揮されるよう、効果的配置を行います。(新規)</p> <p>【総務課】</p>	<p>【取組状況（H29 上半期）】 今年度も再任用希望者を募り、面接を実施し、適材適所に配置できる部署を決定する。</p> <p>【取組状況（H29 下半期）】 再任用職員新規4名、更新3名を適材適所の配属ができた。</p> <p>【課題・今後の方針、改善事項など】 一般行政職の再任用職員を配属できる部署を検討する。</p>	3
<p><b>②定員管理・給与体系の適正化</b></p>		
<p>○正規職員については平成26年度の職員数を基準とし、この人数を超えない範囲での新規採用に努めるとともに、指定管理者制度導入および民間委託等により、再配置となる職員を効果的に配置し、地方公務員法第22条に基づく臨時職員については、削減を進めます。(新規)</p> <p>【総務課】</p>	<p>【取組状況（H29 上半期）】 退職者数と再任用職員の採用数や新規職員採用数を鑑み、来年度の職員数を検討した。</p> <p>【取組状況（H29 下半期）】 来年度の職員数に関しては、新規採用職員を抑制することで、今年度より職員数は削減できた。</p> <p>【課題・今後の方針、改善事項など】 職員定員適正化計画に基づいて職員数は削減していく。</p>	3

<p>○再任用職員については、今後、増加が想定されることから、将来的な退職予定者について再任用の希望調査を行うとともに、再任用職員の効果的な配置を進めます。(新規) 【総務課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 来年度の再任用職員の希望をとって面談して本人の希望する部署への配属を検討した。 <b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 学校司書・保育所調理員・学校調理員計4名の来年度新規再任用職員として任用することとした。 <b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 行政へのニーズも多様化し業務量が増加しているため、再任用職員を、庁内の事務を担当する部署へ配属する。</p>	3
<b>(2) 職員の資質向上</b>		
<p><b>①職員全体のレベルアップ</b> ○先輩職員を講師とした研修や外部講師を招いた庁内研修をはじめとして、山梨県市町村職員研修所等で様々な研修に参加することを奨励し、能力の向上や日々の業務への応用力を養います。(継続) 【総務課】</p>	<p><b>【取組状況（H29）】</b> 外部講師を招いた研修を年2回実施し、新年度に昇任した職員及び女性リーダーを対象とした研修を総務課長指名研修として実施した。また、一人1研修として山梨県市町村職員研修所主催の研修に参加を職員に義務付け、職員のスキルアップを目指した。 <b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 今年度と同様な研修を実施し、職員のスキルアップを目指す。</p>	3
<p><b>②幅広い行政能力・専門知識の習得</b> ○職員の創造的能力の向上、市民サービスの向上や職場の活性化を図るため、「職員グループの自主研究会」活動の支援を継続し、自主的な研修の取組を奨励します。(継続) 【総務課】</p>	<p><b>【取組状況（H29）】</b> 山梨県市町村振興協会の補助事業を利用し、1プロジェクトチームが取り組んだ。 <b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 来年度も山梨県市町村振興協会の補助事業を利用し、自主的な研修の取組を奨励していく。</p>	3
<p>○採用後3年間を重点育成機関と位置づけ、新規採用職員等の相談役となる職員の配置を行い、日常業務を通じた、人材育成の推進と職員の精神的な安定を目指します。(新規) 【総務課】</p>	<p><b>【取組状況（H29）】</b> セクハラ相談員により、セクハラについて相談できるような体制を継続した。職員組合との合同でレクリエーション大会を実施し、課内および庁内全体での交流が促進された。 <b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 来年度も同様に実施していく。</p>	3
<p><b>③意欲を持ち、市民に信頼される職員の育成</b> ○職員が自らの仕事・心構えを見直し、市民に信頼される職員を目指します。職員の積極性が反映される人事システムの検討を行います。(新規・継続) 【総務課】</p>	<p><b>【取組状況（H29）】</b> 人事異動希望調査を実施し、職員の意思が反映される人事を実施した。 <b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 来年度も職員の意思が反映される人事を実施する。</p>	3

<p><b>④人材育成の推進</b></p> <p>○次年度の人事異動方針について次年度の組織体制や新規事業などを考慮した「人事異動方針」として策定し庁内に周知するとともに、人事異動希望調査時の参考とします。(新規) 【総務課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 来年度の組織機構を庁内で検討した。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 来年度の組織機構を構築し、その中で、人事異動希望調査を実施し、人事異動の参考とした。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 人事異動希望調査を実施し、人事異動の参考とする。</p>	3
<p>○若手職員に窓口業務部門、事業部門、内部管理部門などの異なった複数の部署を計画的に経験させる、ジョブローテーションの確立を目指します。(新規) 【総務課】</p>	<p><b>【取組状況（H29）】</b> 今年度も、若手職員に窓口業務部門、事業部門、内部管理部門などの異なった複数の部署を計画的に経験させるジョブローテーションを実施した。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 来年度も若手職員に窓口業務部門、事業部門、内部管理部門などの異なった複数の部署を計画的に経験させるジョブローテーションを実施する。</p>	3
<p>○若手職員のキャリア形成に対する意識向上のため、将来を見据えたキャリアプラン作成ための研修会の実施や職場情報のデータベース化を行い、キャリアプラン作成の支援を行います。(新規) 【総務課】</p>	<p><b>【取組状況（H29）】</b> 若手職員が自ら不足している知識、技能についての自ら習得できるよう山梨県市町村職員研修所の研修に積極的に参加させた。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 来年度も指名研修などを実施し、若手職員が自ら不足している知識、技能について山梨県市町村職員研修所の研修に参加させる。</p>	3
<p><b>(3)人事評価制度の確立</b></p>		
<p><b>①人事評価制度の取組の推進</b></p> <p>○人事評価制度については、業務の目標を明らかにし、成果に基づく評価基準を明確にし、職員の仕事に取り組む意欲を高めるようにします。(継続) 【総務課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 人事評価研修を実施し、職員に平成 29 年度の目標管理シートの作成を実施した。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 人事評価研修を実施した。平成 29 年度の人事評価（業績評価・能力態度評価）を実施した。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 来年度から、今まで一律の評価結果だった上位の評価結果を評価に反映する仕組みを構築する。</p>	3
<p>○課長職の登用に当たっては、実務能力、マネジメント能力を判断し、適正に登用が図られるよう試験を実施するなどの制度の検討を行います。またリーダーを担当する職員については、条例、予算、</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> リーダー職に、指名研修を実施した。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b></p>	

	<p>人事マネジメントなどの研修を受講するとともに、業務上の疑問、悩みなどについて相談できる制度などの創設を行います。(新規)</p> <p>【総務課】</p>	<p>課長職については、実務能力・マネジメント能力を判断し登用した。</p> <p>【課題・今後の方針、改善事項など】</p> <p>来年度以降、課長登用に、登用試験等を実施する仕組みを研究する。</p>	2
	<p>○効率的で円滑な職場体制の構築を目指し、本人の希望による降任制度を導入します。(新規)</p> <p>【総務課】</p>	<p>【取組状況（H29）】</p> <p>効率的で円滑な職場体制の構築を目指し、本人の希望による降任制度を検討した。</p> <p>【課題・今後の方針、改善事項など】</p> <p>リーダー職を選ぶ場合年齢順で登用しているが、来年度から本人希望によるリーダー職への登用を検討する。</p>	2

3 効率（業務改善）		
<b>(1) 市役所窓口における接遇等のさらなる向上</b>		
<b>①わかりやすく、早く、やさしい窓口対応の推進</b> ○住民の視点に立った、親切かつ満足度が高い対応に心がけ、待ち時間の短縮、事務手続きの簡素化、迅速化に努めます。（継続・新規） 【財務経営課】	<b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 平成 28 年度中に実施したアンケートをもとに、現状の把握と過去との比較などの分析を行い、アンケートの実施間隔などについても併せて検討をした。 <b>【取組状況（H29 下半期）】</b> アンケートの実施間隔の検討を行った。 <b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 5 年前の結果と比較しても大幅に悪化している項目はなかった。今後は 3 年の間隔で調査を実施する方向で検討している。	3
<b>(2) 指定管理者制度、民間委託等の推進</b>		
<b>①指定管理者制度の活用</b> ○公の施設の適正な管理・サービス向上と管理経費の節減を図るため、指定管理者制度を積極的に活用します。市民文化会館、ふれあいの森総合公園等において検討を行います。（継続・新規）		
指定管理者制度導入検討 【鈴宮寮】	<b>【取組状況（H29）】</b> 平成 28 年 4 月より指定管理を開始（目標達成）	5
指定管理者制度導入検討（市民文化会館） 【生涯学習課】	<b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 市民文化会館の利用状況について、使用目的、使用料徴収等についての実態調査を実施した。 <b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 平成 28 年度、平成 29 年度の利用状況等の比較では、利用人数は増えているが使用料徴収等については減少している等、利用の実態を分析した。 <b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 現在の減免申請の見直しや廃止の検討等の研究を進める。	2
指定管理者制度導入検討（ふれあいの森総合公園） 【都市整備課】	<b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 公共施設活用検討会を開催し、ふれあいの森総合公園、勝沼駅前公園、祝青空公園及び勝沼健康公園の指定管理に向けた検討を行った。 <b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 公共施設活用検討会を開催し、ふれあいの森総合公園、勝沼駅	3

	前公園、祝青空公園及び勝沼健康公園の指定管理に向けた検討調査研究し、業者選定や仕組みづくり等の方針の検討研究を行った。 <b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 指定管理者の選定など調査研究が今後も必要であり、活用方法や管理方法の仕組みづくりの検討を進める。	
指定管理者制度導入検討（甘草屋敷） <b>【文化財課】</b>	<b>【取組状況（H29）】</b> 両施設ともに、文化財的価値を損なわないよう留意するなかで研究を行った。	2
指定管理者制度導入検討（宮光園） <b>【文化財課】</b>	<b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 県内で公開されている文化財建造物を指定管理で活用している例を知らないことから、県外事例の情報収集を行い、先進地への視察を実施する等、調査をしていく必要がある。	2
<b>②民間委託等の推進</b>		
○事務事業の再点検を行い、行政サービスの向上、効率化が図られる事業については、費用対効果等を勘案し民間委託を推進します。給食センター、証明書発行業務（市民課等）などにおいて検討を行います。 (継続・新規) <b>【関係課】</b>		
・民間委託の推進（証明書発行業務） <b>【市民課】</b>	<b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 甲州市全体で平成 29 年 7 月までにマイナンバーカードを交付した件数は 2970 件であり、甲州市民が自動交付機を使用しての住民票発行件数は 1273 件、印鑑証明発行件数は 994 件であった。 <b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 甲州市全体で平成 30 年 2 月までにマイナンバーカードを交付した件数は 3272 件であり、甲州市民が自動交付機を使用しての住民票発行件数は 1900 件、印鑑証明発行件数は 1827 件であった。 (件数は累計) <b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 窓口業務の民間委託については、発行業務に限るため、事務分掌の分離を行うことが必須である。コンビニ交付の拡充については、事務組合と協議を行う必要がある。	3

<p>・民間委託の推進（証明書発行業務等） 【勝沼支所・市民福祉担当】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 勝沼支所管内で平成 29 年 7 月までにマイナンバーカードを交付した件数は 646 件であり、ローソン勝沼店での自動交付機を使用しての住民票発行件数は 88 件、印鑑証明発行件数は 129 件であった。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 勝沼支所管内で平成 30 年 2 月までにマイナンバーカードを交付した件数は 713 件であり、ローソン勝沼店での自動交付機を使用しての住民票発行件数は 133 件、印鑑証明発行件数は 186 件であった。（件数は累計）</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 甲州市においてのマイナンバーカード交付率は約 8%であり、県平均は上回っているが全国平均をやや下回っている状況であるので、今後の普及に一層力を注ぐ必要がある。なお、支所単独としてはこの制度以外に効率化や自動化を検討している事案は特にないが、マイナンバー制度は今後も適用範囲が広がっていく可能性があるため、施行後の適用錯誤および外部状況の把握に留意していかなければならない。</p>	3
<p>・民間委託の推進（証明書発行業務等） 【勝沼支所・地域振興担当】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 行政サービスの向上と効率化が期待できる事業として都市、河川公園及び道路の整備事業事務を一部民間委託により行い、地区市民の要望に応えるとともに安心安全な施設の保全を実施した。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 行政サービスの向上と効率化が期待できる都市、河川公園及び道路の整備事業についてはできうる限り、業務委託によって地区市民の要望に応えるとともに施設の保全と整備を行った。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 上記業務の委託先として民間業者とシルバー人材センターに加え、障害者授産施設に発注している。身近な小規模事業へのボランティア参加による共同作業については、今後研究を進めていきたい。また、支所所管施設の管理、運営については適正な管理・サービス向上と管理経費の節減を図れるよう検討を進める。</p>	3

<p>・民間委託の推進（証明書発行業務等） 【大和支所】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 大和支所管内で平成 29 年 7 月までにマイナンバーカードを交付した件数は 112 件であり、セブンイレブン甲斐大和店での自動交付機を使用しての住民票発行件数は 6 件、印鑑証明発行件数は 1 件であった。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 大和支所管内で平成 30 年 2 月までにマイナンバーカードを交付した件数は 124 件であり、セブンイレブン甲斐大和店での自動交付機を使用しての住民票発行件数は 8 件、印鑑証明発行件数は 8 件であった。（件数は累計）</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> マイナンバー制度は今後も適用範囲が広がっていく可能性があるため、マイナンバーカードの普及の推進を図っていきたい。</p>	<p>3</p>
<p>・民間委託の推進 【学校給食センター】</p>	<p><b>【取組状況（H29）】</b> 民間委託の可能性について近隣市町村を調査し、次年度以降の取組み方法について検討した。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 民間委託の実施については、生徒数の減少、正職員（調理員）の年齢構成、小中学校統廃合の方針を見ながら自校式校（勝沼・大和地区）の今後の状況などを考慮する中で、他市町村の事例等を基に検討を進める。</p>	<p>2</p>
<p>・民間委託の推進（市営住宅） 【建設課】</p>	<p><b>【取組状況（H29）】</b> 他市の事例等を収集し、民間活力導入について検討を行った。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 参考となる事例等が少なく、新たな取り組みであるため明確な課題が見えにくいですが、他市の動向を注視しながら引き続き研究し調査検討していく。</p>	<p>2</p>
<p>・民間移行の検討（訪問看護ステーション） 【介護支援課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 5 月 9 日甲州市訪問看護ステーション運営協議会を招集し、「甲州市訪問看護ステーションの民間への移行について」諮問を行った。5 月 9 日、5 月 29 日、6 月 12 日の 3 回に渡り審議を行い、7 月 5 日に協議会より市長へ答申を行った。答申を受け、7 月 13 日経営形態庁内検討委員会を開催し、今後のスケジュールを確認し、7 月 24 日、8 月 22 日議員全員協議会へ報告を行った。8 月 23 日</p>	<p>5</p>

	<p>社会福祉協議会より、訪問看護ステーションの開設についての計画書が市長に提出された。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 12月議会において、条例廃止案、改正案を上程し、議決された。1月から閉鎖にむけての事務を行った。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 平成30年3月31日をもって、甲州市訪問看護ステーションを廃止した。</p>	
<p>・甲府・峡東ごみ処理施設への移行 <b>【環境政策課】</b></p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 平成29年4月1日から、甲州市・甲府市・笛吹市・山梨市のごみを受け入れる甲府・峡東クリーンセンターが本稼働を始めた。平成28年の11月から試運転を行っていたこともあり、トラブルもなく順調に稼働している。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 甲府・峡東クリーンセンターについては、焼却ごみの質が良く、売電収入が伸びており、3月議会で負担金の減額補正を行った。引き続き、生ごみの水切り徹底、資源物のリサイクル推進を図り、ごみの減量化を推進して行く。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> ごみ処理施設は、平成29年4月1日に新しいごみ処理施設「甲府・峡東クリーンセンター」に移行が完了した。今後の運営に関する諸課題については、4市担当者会議により協議を行っていく。</p>	5
<b>(3) 事務事業の見直し</b>		
<p><b>① 事務事業評価シートによる業務改善</b> ○事務事業評価・政策評価による業務改善を進め、迅速で効率的な事業の実施を図ります。(継続) <b>【財務経営課】</b></p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 書式について改善を図るとともに、評価を政策や財政への反映が図られるものとするよう検討を行った。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 予算編成への反映については、活用までは至らなかった。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 行政改革の視点として事務事業について事業の精査を行い、事業の廃止も含めた仕組みづくりの構築に向け検討が必要である。</p>	2

<p>○制度改正等に伴う、新規発生の事務処理に関するシステムについては、エクセル、アクセスなど汎用性の高いアプリケーションを使用し、庁舎内で簡易なシステムが構築できるような人材の獲得、育成を目指します。(新規)</p> <p>【総務課】</p>	<p><b>【取組状況 (H29 上半期)】</b> エクセル、ワードなどの上級者を調査するため、アンケートの雛形を作成した。</p> <p><b>【取組状況 (H29 下半期)】</b> 作成した雛形を展開する手法を検討した。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 次年度はエクセル、ワード等の講習会を計画しており、情報技術者の育成を図る、引き続き上級者の把握に努める。</p>	2
<p>○日常業務における情報システムの活用が重要度を増し、その運用コストも財政負担が大きなものとなっています。各自治体が使用しているシステムについては、共通で使用することが可能なもの多くあるため、周辺市町村あるいは県内市町村とともに共同運用、共同開発が行えるよう、検討します。(新規)</p> <p>【総務課】</p>	<p><b>【取組状況 (H29 上半期)】</b> 市町村総合事務組合と会議を持ち、共同化の可能性を探った。</p> <p><b>【取組状況 (H29 下半期)】</b> 他市の状況を調査し、メリットデメリットをまとめた。人口規模や財源の規模等格差がある場合や市、町、村の執行方法の違いを勉強した。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 共同化を実施するには同規模の団体で協議していかなければ、格差が生まれてしまうので引き続き調査研究が必要である。</p>	3
<p>○社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）について、着実に導入を図るとともに独自利用について研究し、市民サービスの拡充が行える体制の整備を行います。(新規)</p> <p>【政策秘書課】</p>	<p><b>【取組状況 (H29 上半期)】</b> 制度の仕組みや効果など更に理解を深めるため、6月に職員研修を実施した。また、7月からのマイナンバー制度における情報連携の試行運用について、情報等の提供を行い周知啓発に努めた。</p> <p><b>【取組状況 (H29 下半期)】</b> 平成29年11月から本格運用が開始された、行政機関の間で情報をやりとりする「情報連携」及び個人ごとのポータルサイト「マイナポータル」について、円滑に運用できるよう関係課と連携し準備を行い、全職員に周知を図った。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 個人番号カードの普及率向上に向けた取組みや市民の利便性、事務効率化を図るため独自利用事務について検討していく。</p>	3
<p>○事務事業について、若手職員を中心に内容確認を行うとともに、若手職員の柔軟な発想を提示できる庁内環境を整備するとともに、提案された事業、改善策について幹部職員等が検討を行う制度の構築を行います。(新規)</p> <p>【財務経営課】</p>	<p><b>【取組状況 (H29)】</b> 若手職員の意見を反映する手法について検討を行った。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 若手職員の意見を反映する手法の確立までには至らなかった。他市町村の事例等を参考に今後も研究を行う。</p>	2

<p>○文書管理に関して、ファイリングシステムを積極的に活用し、新人職員等を対象に毎年度、研修会を行うとともに、電子決裁システムの導入を検討し、個人に依存しない文書管理手法を確立していきます。(新規) 【総務課】</p>	<p><b>【取組状況 (H29 上半期)】</b> 新人職員を対象とした情報システム研修にあわせ、文書管理システムの操作研修を実施した。保存期限が経過した文書について、溶解処理による廃棄を行った。</p> <p><b>【取組状況 (H29 下半期)】</b> 必要に応じたガイドファイルの見直しとともに、平成 30 年度からの機構改革に向けたシステムの設定を行った。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 引き続き新人職員を対象とした操作研修を行うとともに、グループウェア等を活用した情報提供や個別相談に応じるなど、文書管理システムの安定した運用に向けた取り組みを進めていく。</p>	3
<p>○普通建設事業については、長期的視点に立ち、将来的負担を考慮するなかで事業実施の判断を行います。事業採択にあたっての判断基準を制定するとともに、土地改良事業賦課金の扱いについての運用ルールの明確化を行います。(新規) 【農林土木課】</p>	<p><b>【取組状況 (H29 上半期)】</b> 普通建設事業についての採択基準は、他市の基準等を参考に採択基準を検討した。また、土地改良事業賦課金については、平成 27 年 6 月中に規則を定め運用ルールが明確化されたので、周知徹底に努めた。</p> <p><b>【取組状況 (H29 下半期)】</b> 機構改革により課の再編があり、普通建設事業についての採択基準については、建設課に引き継ぐ。また、土地改良事業賦課金については、今後建設課と農林振興課の 2 課にまたがるので、運用ルートを明確化し、周知徹底に努めた。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 機構改革により課の再編があり、普通建設事業についての採択基準については、建設課に引き継ぎ、採択基準を設ける。また、土地改良事業賦課金については、今後建設課と農林振興課の 2 課にまたがるので、明確化した運用ルールの周知徹底を続ける。</p>	3
<p>○印刷物で広報に折り込んでいるものや、各種パンフレットなどで配布残数の多いもの、また周知効果の薄いもの、役割を達成したものについて、検討を行い、廃止、統合を行います。また新規で作成するパンフレット等については、事前に政策秘書課と協議を行います。(新規) 【関係課】</p>	<p><b>【取組状況 (H29)】</b> 広報および折込書類については、各課広報担当員と秘書広聴広報担当との連絡調整のなかで不必要な書類について削減を図った。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 財政面から広報のページ数の削減を実施する中、各種情報の周知は増大しているため、広報担当員を中心に情報の必要性、周知方法についての検討・協議する。</p>	3

<p>○紙資源の有効活用を目指し、使用済みのコピー用紙の裏面の活用等の取組を推進し、不必要な印刷の抑制を進め紙資源の節約に努めます。(新規) 【関係課】</p>	<p><b>【取組状況 (H29)】</b> 新しい取り組みは実施していないが、印刷時には両面印刷の推奨や不必要な印刷の抑制について適宜周知を行った。 <b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 印刷時の両面印刷の推奨や不必要な印刷の抑制などの周知を今後行う。庁内の印刷の状況を把握するため、予算執行情報等を元に研究を進める。</p>	3
<p>○デマンドバスを含めた公共交通システムについては、地域の実情に適したサービス体系の構築を図ります。(新規) 【市民課】</p>	<p><b>【取組状況 (H29 上半期)】</b> 「甲州市地域公共交通網形成計画」により計画していた「再編実施計画」策定を待たずに、速やかな運行体系の変更を実施した。 ・デマンドバスのエリアの拡大と変更 ・勝沼循環バスのぶどうコースとワインコースのルート変更 ・縦断線の運行時刻の変更 <b>【取組状況 (H29 下半期)】</b> 上半期において、運行体系の変更を実施したが、利用人数の減少が続いていることから、デマンドバスの利用方法などの周知活動、また「甲州市高齢者免許返納支援事業」を開始し、新規利用者の掘り起こしを行った。 <b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 高齢人口の割合(高齢化率)は上がっているが、人口減少やデマンドバスのヘビーユーザーの転出などにより利用者数の減少が続いている。今後、デマンドバスのフリーパス券の発行の検討など利用者の増加策を講じていく。</p>	3
<p>○市所有の施設の屋根部分で支障のない箇所について太陽光発電用地として貸し出しを検討し経常経費の縮減を目指します。(新規) 【管財課】</p>	<p><b>【取組状況 (H29)】</b> 太陽光施設への貸し出しについて、屋根部分の他、土地も含め調査検討し、関連企業に打診したが、耐震や景観、発電効率等の問題があり実現していない。 経常経費の縮減としては、本庁舎を含む8施設の電気事業者の入札を実施し、電気料金の面で縮減ができた。 <b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 市所有施設の屋根部分、及び土地について、太陽光発電用地として貸し出すことは、今のところ実現が厳しい状況であるが、経費縮減のため他の手法がないか検討・実施していく。</p>	3

<p>○前納報奨金について、税収の早期確保や納税意欲の高揚などを目的として創設された制度ですが、社会状況の変化や、納税者のご理解ご協力により自主納付が浸透してきたことや、公平性の観点から平成27年度を目途に、廃止します。(新規)</p> <p>【税務課】</p>	<p>【取組状況 (H29)】</p> <p>平成27年度をもって前納報奨金は廃止 (目標達成)</p>	<p>5</p>
<p>○定住促進住宅の入居者増加について、先進地などを参考に取組を行います。(新規)</p> <p>【建設課】</p>	<p>【取組状況 (H29)】</p> <p>平成29年度からお試し住宅制度の運用が始まったが、良好な居住環境の保全に努めた。</p> <p>【課題・今後の方針、改善事項など】</p> <p>お試し住宅制度の利用者からの入居申し込みは無かったが、快適に過ごすことができたという意見をいただいております、概ね好評である。今後も利用者の意見を参考にし、入居率の向上につなげられるよう研究していく。</p>	<p>2</p>
<p>○一括購入物品について、月初め等に在庫状況を庁内に周知するとともに、事務用品について、年度当初等に余剰物品を持ち寄り共有するなど unnecessary 物品の購入を抑制する仕組みについて研究と実施を行います。(新規)</p> <p>【管財課】</p>	<p>【取組状況 (H29)】</p> <p>余剰物品の確認等在庫状況の把握した上での在庫一覧を、各課へ周知する様式及び手法の検討をした。その方法として共有フォルダの使用を検討した。</p> <p>【課題・今後の方針、改善事項など】</p> <p>在庫状況等の把握に共有フォルダを利用する際に、何をどのよう載せるか等の、様式の決定をする必要がある。</p>	<p>3</p>
<p>○活用頻度の高くない電気機器 (プロジェクター等) についてその所有する課の一覧表を作成するとともに、共有可能とする仕組みづくりと徹底を行います。(新規)</p> <p>【管財課】</p>	<p>【取組状況 (H29 上半期)】</p> <p>各課への所有電気機器の情報提供依頼の準備作業を行った。</p> <p>【取組状況 (H29 下半期)】</p> <p>情報提供の依頼と一覧表の作成を行った。</p> <p>【課題・今後の方針、改善事項など】</p> <p>各課所有の電気機器の管理調整をどこで実施するか検討が必要となる。</p>	<p>3</p>
<p>○公共施設の照明について LED 化を行うことにより財政的な効果が見込まれるか検討します。(新規)</p> <p>【管財課】</p>	<p>【取組状況 (H29 上半期)】</p> <p>カーボンマネジメント強化事業 (国庫補助) を視野に、市単事業と費用・工程等の比較検証を実施した。</p> <p>【取組状況 (H29 下半期)】</p> <p>検証結果を基に予算化し、翌年度の準備を行った。</p> <p>【課題・今後の方針、改善事項など】</p>	<p>3</p>

	<p>○消防団については、隣接する部あるいは分団内において統合が可能な検討を進めます。(新規)</p> <p>【総務課】</p>	<p>LED 導入に対し新たな手法を確認し判断する。</p> <p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b></p> <p>4 月 1 日付けで、奥野田分団の組織再編がなされ、4 個部から 2 個部体制へととなったことに伴い、1 部詰所用地の造成工事を行った。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b></p> <p>奥野田分団 1 部については、新たな詰所建設を行い、平成 30 年 3 月 24 日に落成式を行った。奥野田分団 2 部については、用地を購入し、新詰所の設計委託を行った。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p> <p>1 部については、30 年度に旧詰所 2 か所の解体を行い、公共施設管理計画との整合性を図ることとしている。2 部については、30 年度に新詰所の建設を行う。</p>	<p>3</p>
--	--	---	----------

<b>4 安心（健全財政の維持）</b>		
<b>(1) 公共施設マネジメントの推進</b>		
<p><b>① 公共施設マネジメントの推進</b></p> <p>○公共施設等総合管理計画の策定を進め、公共施設のあり方について、長期的視点に立ち、地域的な配置、財政状況を勘案する中で適正な配置および整備を行います。施設の新設にあたっては、既存の公共施設との機能分担を考慮するなかで判断を行います。（新規） 【財務経営課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 甲州市公共施設等総合管理計画の基本方針に沿った施設類型別の個別計画策定に向けて、各課に施設の方針決定の依頼をし、取りまとめを行い、庁内組織である公共施設マネジメント推進委員会へ報告した。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 上半期の調査では、現状維持の施設が多かったので、個別計画策定に向け、各課に、より具体的な策定状況調を実施した。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 平成 32 年度までに個別計画を策定予定なので、庁内組織を中心に専門業者へ委託する中で、取組を着実に推進する。</p>	<b>3</b>
<b>(2) 新しい財源の検討</b>		
<p><b>① 新しい財源の検討</b></p> <p>○市民文化会館などにおいて、収益性の高いイベントの実施や企業とのタイアップを行い、事業収益の増加を目指します。定期的な連絡調整会議を立ち上げるとともに、利用者増加に向けた広報等の手法の検討を行います。（新規） 【生涯学習課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> PR、広報、周知の方法等について、また、集客率が向上する手法について研究した。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 市広報、ホームページへの掲載以外にポスター、チラシ等を市内外の施設に配布し掲示による PR や SNS での情報提供を行ったが集客力にかけた。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 市広報、ホームページへの掲載以外にポスター、チラシ等を市内外の施設に配布し掲示による PR や SNS での情報提供を続ける。また、イベント等の開催時期の検討を進める。</p>	<b>3</b>

<p>○指定管理を行っている各施設において、事業収益の増収を目指し、連絡調整会議を開催するとともに来場者の増加に向けた広報等の手法の検討を行います。(新規) 【政策秘書課】</p>	<p><b>【取組状況 (H29 上半期)】</b> 施設使用料等の収入による独立採算での管理運営は、現状では非常に困難であるが、事業報告書に基づくモニタリングを実施し、利用料金収入等による独立採算での管理運営の可能性を検討した。</p> <p><b>【取組状況 (H29 下半期)】</b> 引き続き検討を進める中で、指定管理料の支払いが無く運営していて、なおかつ利益が出ている施設については、様々な方法も含めて検討した。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 民間事業者による公の施設の管理運営は、財政効果はもちろんのこと、民間が持つノウハウによるサービス向上も期待できるため、利益を市に還元すること以外にも、総合的な観点から行政改革を進めていく。</p>	2
<p>○広告収入の拡大を目指し、広告収入を確保する手法の検討や、公用車のラッピング広告などの広告媒体の拡充に向け検討を進めます。また公共施設の命名権、道路の命名権などのネーミングライツの活用が可能か検討を行います。(新規) 【政策秘書課】</p>	<p><b>【取組状況 (H29)】</b> 市内外から広告掲載の依頼はあるが、件数は落ち着いている。</p> <p><b>【取組状況 (H29 下半期)】</b> 上半期状況から、以前に掲載歴のある広告主への働きかけなどを展開した。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> プロジェクトチームの立ち上げ及び広告掲載物の拡充、ネーミングライツ等の検討協議が必要である。</p>	3
<p>○ふるさと納税制度についてはインターネットの活用により、平成 26 年度から導入したクレジットカード支払いに加え、各種の納付方法を検討するとともに、特産品の拡充を行い、様々なイベントなどで周知を図る等、さらなる寄附金の増加を目指します。(新規) 【政策秘書課】</p>	<p><b>【取組状況 (H29 上半期)】</b> 9月までの寄附件数は約 12,000 件、金額は約 218 百万円で昨年比 85.7%であった。年末にむけ、更にメディアを活用するなどして甲州市を周知していくと共に件数、金額の増加対策を実施する。</p> <p><b>【取組状況 (H29 下半期)】</b> 大阪で開催された「ふるさと納税大感謝祭」への参加や各種関連雑誌等に記事を掲載し、様々なプロモーションを行った。ふるさと納税全国サミットでは、先進自治体の取組み事例を中心にしたパネルディスカッションを通じて、担当者レベルで課題やふるさと納税を取り巻く情勢の変化への対応など、実体験に基づいた課題や解決策について研修した。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p>	3

他自治体のふるさと納税の取組み等について情報共有を行い、年々変化する制度について課題や対応策を共有する。今後も継続して創意工夫を行うなかで取組みを強化する。

**(3) 適正な債権管理の推進**

**① 各種税金の収納率の維持および向上**

○税負担の公平性や税収入の安定確保の観点から取り組んできた収納率の向上については、一定の水準に達しているため、この収納率の維持と向上に努めます。また、税金の用途を市の広報などに掲載するとともに滞納整理の状況も継続して掲載し、納税意識の啓発と向上に努めます。(継続)

【収納課】

**【取組状況（H29 上半期）】**

- ・4、5月は平成28年度徴収強化月間として滞納繰越分を増加させない様に取り組んだ。
- ・現状の取組みを確実に行った。
- ・現年の滞納についても、早い段階で滞納整理に着手し、滞納額が増えないよう納税相談や差押等を行った。
- ・9月には、県下合同不動産公売会に参加した。
- ・搜索も積極的に行った。

**【取組状況（H29 下半期）】**

- ・11月には、県下合同不動産公売会に参加し、土地2件が8,503,750円で売却でき、滞納分に充てることができた。
- ・1月には、県下合同不動産公売会に参加し、差押品が12,123円で売却できた。
- ・現状の取組みを確実に実行した。
- ・11、12月は徴収強化月間とし、誠意のない滞納者には、差押を強化した。
- ・市内だけでなく、県外での搜索も実施した。

○平成27・28年度決算時収入未済額

税目	年度	収入未済額 (単位：千円)
個人市民税	27	26,668
	28	20,484
法人市民税	27	2,719
	28	652
固定資産税	27	100,421
	28	65,773
軽自動車税	27	5,696
	28	2,918
都市計画税	27	6,465

		28	4,159		
	国民健康保険税	27	200,630		
		28	136,975		
		<b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の取り組みを確実に継続する。</li> <li>・固定資産税滞納者に対する差押不動産公売などを積極的に推進する。</li> <li>・手元に現金がなくても納税できるクレジット収納利用者を増やすため、広報を行う。</li> </ul>			
○特別徴収事業所増加への取り組み 【税務課】		<b>【取組状況（H29 上半期）】</b>			3
		平成 29 年度当初税額決定納税通知書の発送時に制度の啓蒙に努めた。			
		<b>【取組状況（H29 下半期）】</b>			
		県内市町村が足並みをそろえ、関東甲信 7 都県の市町村と特別徴収事務に関する書式を統一し、事業所事務の煩雑さを無くすよう努めた。			
		<b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b>			
		完全実施の維持と特別徴収通知の圧着など個人情報の保護の強化が必要となる。			
○小型特殊自動車の適正課税の推進 【税務課】		<b>【取組状況（H29 上半期）】</b>			3
		今年度から市内販売店に、販売証明書を作成し配布した。販売証明書に必要事項を記入してもらうことにより、来庁時のナンバー取得時の手間がはぶけ、スムーズにナンバー公布ができる。			
		<b>【取組状況（H29 下半期）】</b>			
		広報誌、ホームページ上で制度のお知らせに努めた。			
		<b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b>			
		販売店等の訪問について、近隣市との連携により範囲の拡大を目指す。			
<b>②未収金の解消</b>					
○市営住宅家賃、上下水道料、保育料なども、納入指導、訪問等を行い、未収金の縮減に取り組むとともに、市税徴収のノウハウを各種債権の徴収に応用し、税以外の公債権、私債権についても職員が支払督促などの法的措置などを行えるよう連携を図ります。また、連帯保証人					

<p>および保証人への徴収・催告についても積極的にいきます。(新規・継続)</p>								
<p>・未収金の解消（保育料） 【子育て支援課】</p>	<p><b>【取組状況（H29）】</b> 次の取り組みを行った。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・督促状、催告書の送付</li> <li>・納付相談(随時)</li> <li>・児童手当から申出書提出の徹底</li> <li>・電話による催促</li> <li>・保育所又は自宅臨戸徴収</li> <li>・児童手当の申出徴収</li> </ul> ○平成 27・28 年度決算時未収金状況</p> <table border="1" data-bbox="1279 608 1637 762"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>未収金額 (単位：千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27</td> <td>2,756</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>1,302</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 新規の滞納者へ、早い段階で電話や保育園へ臨戸徴収をするなどし、保護者へ保育料の未納をさせない意識を高めていく。現年分の未納は、次年度に繰り越さないように努める。</p>	年度	未収金額 (単位：千円)	27	2,756	28	1,302	3
年度	未収金額 (単位：千円)							
27	2,756							
28	1,302							
<p>・未収金の解消（市営住宅家賃） 【建設課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 通知や電話催促による納付指導及び夜間徴収を行った。納付勧奨員を配置し、臨戸訪問による納付の呼びかけなどの取組を実施した。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 上半期と同様の取り組みをしたが、特に上半期に比べて夜間徴収を強化した。</p> ○平成 27・28 年度決算時未収金状況 <table border="1" data-bbox="1279 1214 1637 1369"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>未収金額 (単位：千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27</td> <td>11,946</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>13,648</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p>	年度	未収金額 (単位：千円)	27	11,946	28	13,648	2
年度	未収金額 (単位：千円)							
27	11,946							
28	13,648							

	<p>夜間徴収を強化した結果、面談の頻度は増しており、生活状況等の情報が得やすくなった。しかし、その状況から即刻納付へはつながっておらず、今後も新たな未収金を発生させないよう期限内納付の徹底を図る必要がある。</p>							
<p>・未収金の解消（後期高齢者保険料） 【国保年金課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 保険料未納者に対しては通知で勧奨を行い、納付を確認のうえ、短期証（3ヶ月）を窓口にて交付している。 督促状の送付時や新規加入者には、口座振替の申込書を同封している。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 3月には催告書を送付して納付を促し、滞納の解消に努めた。</p> <p>○平成27・28年度決算時未収金状況</p> <table border="1" data-bbox="1279 611 1637 762"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>未収金額 (単位：千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27</td> <td>3,370</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>3,241</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 納付相談により分納誓約書を取り交わし、納付に繋げる。口座振替の推進や短期証の窓口交付を引き続き実施するとともに、電話や訪問による納付勧奨も随時行い、顔の見える関係から納付に繋がるよう努める。</p>	年度	未収金額 (単位：千円)	27	3,370	28	3,241	3
年度	未収金額 (単位：千円)							
27	3,370							
28	3,241							
<p>・未収金の解消（上水道使用料） 【水道課】</p>	<p><b>【取組状況（H29）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の停水執行を定例化し実施した。</li> <li>・滞納者のリストアップにより現状確認を行い、新たな未収金の発生を軽減させる為、個別訪問や電話催告を実施した。</li> <li>・常習の滞納者に対して状況に応じ停水執行の措置のスピード化を図った。</li> </ul> <p>○平成27・28年度末(3月31日時点)未収金状況</p> <table border="1" data-bbox="1279 1217 1637 1369"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>未収金額 (単位：千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27</td> <td>47,374</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>40,367</td> </tr> </tbody> </table> <p>※注 水道会計の性質上、3月末時点の数字で、この数字には4月</p>	年度	未収金額 (単位：千円)	27	47,374	28	40,367	3
年度	未収金額 (単位：千円)							
27	47,374							
28	40,367							

	<p>に口座引き落としとなる分の額が含まれる。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 職員が未収金の解消に常に取り組んでおり、滞納者の、市税等との重複滞納の状況や、生活困窮等の滞納理由は把握できている。特別な事情がある場合は納付方法等の相談に応じる等収納率の向上を図っているが、今後も改善に取り組む。</p>							
<p>・未収金の解消（簡易水道使用料） 【水道課】</p>	<p><b>【取組状況（H29）】</b> 収納率を上げるため、例年どおり催告書及び督促等を強化し、納付書等を他のものと差別化し（葉書や市マスコット等の使用）収納率のアップに努めた。 ○平成27・28年度決算時未収金状況</p> <table border="1" data-bbox="1279 571 1637 727"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>未収金額 (単位：千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27</td> <td>4,273</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>3,972</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 収納率を上げるために、文書での催促以外に電話等での直接的な催促など強化を図っていく。</p>	年度	未収金額 (単位：千円)	27	4,273	28	3,972	3
年度	未収金額 (単位：千円)							
27	4,273							
28	3,972							
<p>・未収金の解消（下水道料） 【都市整備課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 文書・電話・訪問による催促の回数を増やし、支払い意識の向上を図った。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 上半期の取り組みに加え、支払いの遅れがちな方には、電話により支払いを促し、徴収を行った。 ○平成27・28年度決算時未収金状況</p> <table border="1" data-bbox="1279 1102 1637 1259"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>未収金額 (単位：千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27</td> <td>8,810</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>9,326</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 未収金とならないよう現年での収納率の向上に努める。</p>	年度	未収金額 (単位：千円)	27	8,810	28	9,326	2
年度	未収金額 (単位：千円)							
27	8,810							
28	9,326							

(4) 外郭団体等の見直し		
<p><b>①社会福祉協議会の経営の見直し</b></p> <p>○社会福祉協議会の経営について、収益性のある事業の導入を含め、経営の見直しが行えるよう支援を行います。(新規)</p> <p>【福祉課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b></p> <p>居宅介護支援事業と訪問介護事業の利用者件数はまだ少ないものの、今年度からは、他の介護保険事業者との違いを明確化し、社協らしさを生かした経営ができるよう支援した。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b></p> <p>利用者は徐々に増加しているが、まだ経営として安定するまでには至っていない。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p> <p>現在は、職員数も少数であり、経営の安定化までに時間を要していく。</p> <p>今後は、人員の充実と介護サービス事業の複合的な展開をしていく必要があり、新年度当初から訪問看護ステーションを開設し、人員を充実するとともに、各事業間での連携を図り、社協の特性を活かしたサービス提供と経営の安定化を図って行く必要がある。</p>	3
<p><b>②外郭団体（社会福祉協議会等）への職員派遣の見直し</b></p> <p>○社会福祉協議会等へ職員派遣を行っていますが、ヒアリング調査を行い、必要人員の把握を行い、可能な範囲で縮減を検討し、将来的には派遣の廃止を検討します。(新規)</p> <p>【総務課】</p>	<p><b>【取組状況（H29）】</b></p> <p>来年度、訪問看護ステーションの運営が社会福祉協議会に移行されることに伴い、その運営が軌道に乗るまでの期間、新たに職員2名の看護師を派遣し、全体で3名の職員を派遣した。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p> <p>今年度派遣職員2名増員したが、できるだけ早い段階で職員派遣を廃止する。</p>	3
<p><b>③土地開発公社の廃止</b></p> <p>○平成32年度の土地開発公社の廃止を目指し、必要な法制面、財政面の整備を着実に進めます。(新規)</p> <p>【管財課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b></p> <p>平成29年4月に第1回土地開発公社理事会開催した。理事の法務局への登記を行った。平成29年度分の償還金を返済した。(9月)</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b></p> <p>平成30年2月に第2回土地開発公社理事会開催した。平成29年度分償還金返済を実施した(3月)。3月末中銀への総額441,035,246円分の借換を実施した。</p> <p>○平成29年度末残金総額622,459,044円(元金609,620,210円、利子12,838,834円)</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p>	3

		平成 32 年度末に完済した上で公社を解散する。	
<b>(5) 経費節減等による健全な財政運営</b>			
<b>① 財政の効率化・健全化</b>	○中長期財政計画を定め、各種財政指標に数値目標を設定し、的確な財政運営を行います。財政情報については、わかりやすく公表します。 (継続) 【財務経営課】	<b>【取組状況 (H29 上半期)】</b> 市のホームページ、広報誌において、財政状況資料集をはじめ、公営企業の業務状況や補正予算の概要、平成 28 年度の一般会計及び特別会計、企業会計の決算について公表した。 統一基準による財務書類の作成、公表の準備を行った。 <b>【取組状況 (H29 下半期)】</b> 統一基準による財務書類の公表を行った。 <b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 定期的の中長期財政推計の見直しを行うとともに、甲州市の財政状況をホームページや広報紙等で公表し財政状況についての情報共有に務め、職員に対しても健全財政への意識改革に取り組む。	<b>3</b>
<b>② 経常経費の節減</b>	○歳出の抑制を図るため、事務処理コストをはじめ経常経費の節減に努めます。(継続) 【財務経営課】	<b>【取組状況 (H29)】</b> 予算編成方針に経費節減についての意識統一を図った。 <b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 全ての職員に経費節減の意識を徹底させ、健全な財政運営を図る。	<b>3</b>
<b>③ 補助金及び負担金の見直し</b>	○現在ある補助金および負担金について、その必要性を判断し、縮減および削減が可能か検討します。また 3 年毎の見直しサイクルの確立を目指します。(新規) 【財務経営課】	<b>【取組状況 (H29 上半期)】</b> 団体運営補助金の調査を行うため、平成 28 年度決算をもとに調査方法、時期等の検討を行い、9 月に各課に調査依頼をした。 <b>【取組状況 (H29 下半期)】</b> 調査結果をもとに一部の課からヒアリングを行い、平成 30 年度当初予算編成における資料とした。 <b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 補助金の運用についても定期的な調査が必要であり、補助金の内容及び必要性について判断を行う仕組みの構築について研究を進める。	<b>3</b>
<b>(6) 特別会計等の経営健全化</b>			
<b>① 効率的運営と透明性の確保</b>	○特別会計の事業ごとに今後の事業のあり方、方向性を見極めながら経営改善・効率化に努めます。(継続) 【財務経営課】	<b>【取組状況 (H29)】</b> 現状の取組について着実に推進する。財政面については、財政状況の報告時などに情報共有など連携を図った。 <b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 現状の取組について着実に推進する。財政面については、財政	<b>3</b>

	<p>状況の報告時、予算査定時などに担当課との情報共有を図るとともに効果的な取組について研究を進める。</p>	
<p>○経営状況、財政状況の透明性を向上させます。(継続) 【財務経営課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 経営状況については、昨年度に引き続き広報、ホームページに掲載を行った。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 12月1日現在の経営状況について掲載を行った。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 経営状況について6月と12月にホームページ等で掲示を行う。</p>	<p>3</p>
<p><b>②水道事業</b></p> <p>○衛生・安全に配慮しつつ、コスト削減に取り組み、より一層計画的、効率的な事業運営を図ります。(継続) 【水道課・上水道】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 当初計画の老朽管布設替及び水道施設長寿命化事業を、計画通り発注し整備を進めた。事務効率等に関しては、検針業務及び開閉栓等の業務委託により改善が見られた。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 上半期に引き続いて、計画的に工事等（公共下水道、老朽管布設替）を発注し整備が完了した。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 現状の取り組みを着実に推進する。財政面においては、財政状況の報告時、予算査定時などに担当課との情報共有を図るとともに効果的な取り組みについて検討を進める。</p>	<p>3</p>
<p>○衛生・安全に配慮しつつ、コスト削減に取り組み、より一層計画的、効率的な事業運営を図ります。(継続) 【水道課・簡易水道】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 公会計移行に関する資産整理資料の整理中であり、平成30年度試運転実施に向け準備を行った。簡易水道台帳の電算システム化については、さらに精度の高い情報を提供した中で進めた。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 資産整理については今年度終了となる。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 平成30年度は、資産整理資料を基に新規事業である水道ビジョン及び経営戦略を作成しながら公会計移行に伴う電算システム構築を予定している。 上水道、簡易水道の公会計統合について、今回の資産整理結果資料を基に更に経営戦略を策定していく。</p>	<p>3</p>

<p>○水道使用料については、維持管理費等の必要経費を考慮するなかで、定期的な見直しを検討するとともに収納率の維持、向上を図ります。 (新規) 【水道課・上水道】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 本水道事業の経常収支は、過去4年101%から115%までの間で変動しているが、上半期の経常収支比率もこの水準を維持した。 <b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 上半期と同様に平年並みの経常収支比率となった。 <b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 現在、収支バランスは適正と判断できる。今後も健全経営を中期的には行っていけると考えられる。収納率については、現状の収納率を維持していける様に努める。</p>	<p>3</p>
<p>○水道使用料については、維持管理費等の必要経費を考慮するなかで、定期的な見直しを検討するとともに収納率の維持、向上を図ります。 (新規) 【水道課・簡易水道】</p>	<p><b>【取組状況（H29）】</b> 公会計移行に関する資産整理資料の作成中であり、簡易水道台帳電算システム化については、更に精度の高い情報を提供した中で進めた。 <b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 平成30年度は、新規事業である水道ビジョン及び経営戦略を作成しながら公会計移行に伴う電算システム構築を予定している。上下水道、簡易水道の公会計統合について、今回の資産整理結果資料を基に更に経営戦略を策定していき、適正な使用料について検討していく。</p>	<p>3</p>
<p><b>③下水道事業</b></p>		
<p>○地域性や生活環境を考慮し、事業内容・計画等を総合的に見直し、合併浄化槽の活用も含め総合的な生活排水処理を行います。(継続) 【都市整備課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 計画削減の対象を選定した。 <b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 現地踏査を行い、計画削減個所、追加個所の候補を選定した。 <b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 下水道の全体計画を変更し、身の丈に合った汚水処理方法を適切に選定することにより、安定的な運営ができるよう努める。</p>	<p>3</p>
<p>○下水道の供用開始後、早期加入による利用促進を図ります。(継続) 【都市整備課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 普及が進まない個所を絞り込み、訪問勧誘をした。 <b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 工事個所の周辺で重点的にPRを行い、現地での排水方法の説明に力を入れた。 <b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 引き続き、繰り返し接続勧誘を行う。</p>	<p>3</p>

<p>○下水道の使用料金については、維持管理費等の必要経費を考慮するなかで、定期的な見直しを検討します。(新規) 【都市整備課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 全国や県内市町村の使用料の調査を行い、使用料改定に向けての検討資料を作成した。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 下水道事業審議会において、事業の検証を行い、方針を決定した。3月議会において、下水道使用料条例及び浄化槽の整備に関する条例の一部改正を行い、料金体系の見直しを行った。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 3年ごとに事業運営の状況を検証し、適切な使用料となるように努める。</p>	4
<p><b>④病院事業</b></p> <p>○地域の医療を担う病院として、民間活力による更なる医療サービスの向上と診察機能の充実に努めます。(継続) 【国保年金課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 医療に関係する健康増進課、介護支援課、国保年金課の3課にて、勝沼病院の入院調査を実施するとともに、32年指定に向けた病院体制の検討を行った。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 庁内検討委員会を開催し、市として診療科目、病床数、入院調整のためソーシャルワーカー設置を主旨とする要望事項を取りまとめた。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 関係各課において、病院の現状及び将来への方向性を具体的に集約することができた。今後、さらに指定管理者との協議において、地域の医療要望に応えられる病院を目指す。</p>	3
<p><b>⑤ぶどうの丘事業</b></p> <p>○企業の健全経営の側面から利益を追求しつつ、地域情報の発信、観光の拠点として引き続き産業振興に貢献するよう努力していきます。(継続) 【ぶどうの丘】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 甲州市特産果実を使用したスイーツの開発について、上半期はシャインマスカットなどのスイーツなどの地産地消商品の強化図り、展望ワインレストランで販売、渉外販売等のワインPR強化など健全経営と産業振興に努めた。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 上半期同様、地産地消の販売促進、キャンペーン活動などを強化し、引き続き健全経営と産業振興に努めた。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 今後も事務改善報告書に沿った適正かつ効率的な事務処理を行うとともに、甲州市の特産品を使用した収益性の高い料理、土産品などの提供に努め地域情報の発信と産業振興に貢献していく。</p>	3

<p>○経営健全化計画の策定を行うとともに、健全経営体制の構築へ向け取り組みを行います。(新規) 【ぶどうの丘】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b> 平成 29 年度、経営健全化計画を包括したぶどうの丘事業経営戦略に基づき、施設整備に着手した。また、公営企業法の本質を認識しながら、利潤の追求だけではないその本来の目的である公共の福祉を増進していく運営を行い、観光業である公営企業として地域への貢献を高め、より効率的な運営と独立採算を基本とした健全経営を目標に経営基盤の強化に引き続き努めた。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 経営戦略に沿った取り組み健全経営に努めた。また、引き続き事務改善報告書の内容に従って適正な事務を行い、仕入納入業者の登録など公平性、透明性、適正価格による購入などにより経費の削減に努めた。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b> 地域ならではの体験・交流を取り入れた観光の充実、ハード面、ソフト面において質の高い総合的なサービスの構築が求められている。そのためには充実したサービスと安心、安全な施設を維持していくことが非常に重要であり、この点が、ぶどうの丘の抱える一番の課題と考えられる。経営戦略の試算では今後 10 年間の現金預金残高の推移は減少していくことが予想され、これまで内部留保資金で賄っていた部分が枯渇していく事が想定される。今後は、ぶどうの丘経営改革委員会や市の関係機関などと「ぶどうの丘事業運営検討委員会（仮称）」等を設けて、ぶどうの丘の運営について、検討、調整を進めることが必要と考えられる。</p>	3
<p><b>⑥国民健康保険事業</b> ○国民健康保険事業をより安定的に運営していくため、訪問指導や疾病予防教室の実施など様々な事業に取り組みます。(継続) 【国保年金課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会において糖尿病対策の検討会を開催した。</li> <li>・総合健診、国保人間ドック、個別医療機関健診にて特定健診を実施した。</li> <li>・糖尿病発症予防教室、特定保健指導の教室を実施した。</li> </ul> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b> 特定健診について総合健診 8 月 25 日から 11 月 10 日までの期間、さらに追加健診を 1 月に実施、その後健診結果説明会を地区公民館などで実施した。また、糖尿病なんでも相談窓口を開設し、かかりつけ医と連携し糖尿病手帳を使った指導を実施した。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p>	3

		<p>指導者のスキルアップと、保健指導を対象者の生活改善につなげる工夫が必要である。</p>	
	<p>○「国民健康保険税滞納者対策実施要領」に沿って、滞納者の減少に努めます。(継続) 【収納課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4、5 月は平成 28 年度徴収強化月間として滞納繰越分を増加させない様に取り組んだ。</li> <li>・ 現状の取り組みを確実に行った。</li> <li>・ 現年の滞納についても、早い段階で滞納整理に着手し、滞納額が増えないよう納税相談や差押等を行った。</li> <li>・ 9 月には、県下合同不動産公売会に参加した。</li> <li>・ 捜索も積極的に行った。</li> <li>・ 国民健康保険税滞納者対策実施要領に沿って、短期被保険者証を交付するなど滞納者対策を実施した。</li> </ul> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11 月には、県下合同不動産公売会に参加し、土地 2 件が 8,503,750 円で売却でき、滞納分にあてることができた。</li> <li>・ 1 月には、県下合同不動産公売会に参加し、差押品が 12,123 円で売却できた。</li> <li>・ 現状の取り組みを確実に実行した。</li> <li>・ 11、12 月は徴収強化月間とし、誠意のない滞納者には、差押を強化した。</li> <li>・ 市内だけでなく、県外での捜索も実施した。</li> </ul> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状の取り組みを確実に継続する。</li> <li>・ 固定資産税滞納者に対する差押不動産公売などを積極的に推進する。</li> <li>・ 手元に現金がなくても納税できるクレジット収納利用者を増やすため、広報を行う。</li> <li>・ 国民健康保険税滞納者対策実施要領に沿った滞納者対策を確実に実施する。</li> </ul>	<p>3</p>

<p>○後発医薬品（ジェネリック医薬品）の利用促進について通知を行うとともにレセプトデータをもとに保健指導を行い、適正な受診について勧奨を行います。（新規） 【国保年金課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後発医薬品について民生委員地区会議での啓発活動を行った。</li> <li>・差額通知書の送付を行った。</li> </ul> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・差額通知書の送付を行った。</li> <li>・重複受診者の対象者の抽出と訪問による保健指導を行った。</li> <li>・薬剤師会での情報提供を行った。</li> </ul> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p> <p>薬剤師会での積極的なジェネリック医薬品の啓発が必要である。ジェネリック医薬品の普及率は徐々に上がっているため、各地区組織での啓発など今後も継続していくことが必要である。</p>	3
<p>○平成 29 年度に予定されている国民健康保険事業の山梨県域保険者一元化について、関連部署と連携を取る中で、システム整備などの業務が滞りなく推進できる体制を構築し、計画的に移管業務を進展します。（新規） 【国保年金課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b></p> <p>移行に向けた説明会等に参加するとともに、システムの整備を行った。また、関係部署・機関と連携を図り、体制を整えた。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b></p> <p>新たな国保の財政運営体制に備え、新年度会計の項目の整備を行った。連携データ提供などのテストも行い、30 年度の本稼働に備えた。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b></p> <p>来年度からの一元化について準備を整えた。来年度以降は、新たな形態となる財政運営を県や国保連合会と確認・連携しながら、着実に執行していく。</p>	5
<p><b>⑦介護保険事業</b></p> <p>○高齢者が要介護状態とならず、住みなれた地域で安心して生活できるよう介護予防事業等に取り組むことで、介護給付費増加を抑制します。（継続） 【介護支援課】</p>	<p><b>【取組状況（H29 上半期）】</b></p> <p>総合事業対象者が、おおむね 3 か月で日常生活での自立を目指す通所サービス C（短期集中プログラム）と、社会参加と健康管理のための、いきいき健幸教室、健幸隊を実施し、介護認定の遅延に努めた。また、訪問サービス B（地域での支えあい）を啓発し、支えあいの担い手の育成を進めた。</p> <p><b>【取組状況（H29 下半期）】</b></p> <p>みなし指定事業所の有効期間が平成 30 年 3 月末のため、甲州市、山梨市、笛吹市及び峡東保健福祉事務所と更新手続きの届け出、継続したサービスの利用に支障がないよう協議し、事業所へ</p>	3

		<p>の周知を行った。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b>  介護予防サービス費の適正化を目指し、平成 30 年 4 月利用分から、月単位請求から回数請求へ変更し、サービス給付費の抑制に努める。</p>	
	<p><b>⑧訪問看護事業</b></p> <p>○引き続き安定した運営を行い、高齢者などが住みなれた地域や家庭で療養できるよう支援します。(継続)  <b>【介護支援課】</b></p>	<p><b>【取組状況 (H29 上半期)】</b>  人員不足による訪問看護受け入れの制限や経営悪化を防ぐために新賃金体制を改善し、新人訪問看護師の確保に向けての活動を行った。</p> <p><b>【取組状況 (H29 下半期)】</b>  新たに訪問看護師を雇用し、訪問件数も徐々に増やすことができた。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b>  利用人数・訪問件数共前年より増加し、サービス事業収入も増加した。(平成 30 年 3 月 31 日をもって、甲州市訪問看護ステーション閉鎖。)</p>	3
	<p>○訪問看護のさらなる充実を図るため、民営化も含め、事業のあり方の検討を行います。(新規)  <b>【介護支援課】</b></p>	<p><b>【取組状況 (H29 上半期)】</b>  5 月 9 日甲州市訪問看護ステーション運営協議会を招集し、「甲州市訪問看護ステーションの民間への移行について」諮問を行った。5 月 9 日、5 月 29 日、6 月 12 日の 3 回に渡り審議を行い、7 月 5 日に協議会より市長へ答申を行った。答申を受け、7 月 13 日経営形態庁内検討委員会を開催し、今後のスケジュールを確認し、7 月 24 日、8 月 22 日議員全員協議会へ報告を行った。8 月 23 日社会福祉協議会より、訪問看護ステーションの開設についての計画書が市長に提出された。</p> <p><b>【取組状況 (H29 下半期)】</b>  12 月議会において、条例廃止案、改正案を上程し、議決された。1 月から閉鎖にむけての事務を行った。</p> <p><b>【課題・今後の方針、改善事項など】</b>  平成 30 年 3 月 31 日をもって、甲州市訪問看護ステーション閉鎖。</p>	5

平成29年度検証結果 集計表

取組の区分	5 最終目標達成	4 各年度目標を 超える進捗	3 順調な進捗	2 進捗不十分	1 未着手
1 協働（市民協働の推進）			13	2	
2 成果（職員の意識改革）			16	2	
3 効率（業務改善）	4		18	9	
4 安心（健全財政の維持）	2	2	32	3	
合計	6	2	79	16	

